

「ケミ・リサ SENDAI」プロジェクトの取り組みが評価され、

令和 7 年度みやぎゼロカーボンアワード優秀賞を受賞

宮城県では、2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることを目指しており、その実現に向けて顕著な功績のあった個人または団体を「みやぎゼロカーボンアワード」として表彰しています。

このたび当社は、持続可能な社会の実現を目指す「ケミ・リサ SENDAI」プロジェクトにおいて、プロジェクトパートナーの一員として活動しその取り組みが評価され、宮城県主催の令和 7 年度みやぎゼロカーボンアワードにおいて優秀賞を受賞しました。

「ケミ・リサ SENDAI」プロジェクトは、スタジアムグルメなどで使用されたプラスチック容器を回収し、ケミカルリサイクル技術で分子レベルまで分解。そこから高品質なプラスチックに再構成し、食品容器として再利用しています。当社は環境負荷低減と資源循環の推進に貢献するため、パートナー企業等と連携し、持続可能な社会の実現に向けた活動を続けています。

今回の受賞を機に、さらに環境対応型資材の提案や循環型ビジネスモデルの構築を強化し、社会により一層貢献してまいります。

以上

● 「ケミ・リサ SENDAI」プロジェクト

<https://www.vegalta.co.jp/contents/chemical-recycling/>

● 宮城県内の活動

ベガルタ仙台ホームゲーム開催時、24 時間テレビ仙台会場、仙台オクトバーフェスト

● 共同パートナー（50 音順）

株式会社 N T T データ経営研究所、株式会社高速、仙台市、東商化学株式会社、東洋スチレン株式会社、株式会社 Pyro、株式会社ベガルタ仙台、一般社団法人未来のテレビを考える会。

以上の 8 団体。

プロジェクト概要

ベガルタ仙台が中心となり、スタジアムグルメで使用されたプラスチック容器（主にポリスチレン）を回収し、ケミカルリサイクル技術で再資源化する取り組み。

目的

食品容器としての再利用を可能にし、完全循環型の資源利用を目指す。日本のプロスポーツイベントでは初の試み。

技術の特徴

使用済み容器を熱分解 → 分子レベルに分解 → 再重合 → 新たな容器へ → ヴァージン材と同等の品質を実現

連携企業・団体

東洋スチレン、株式会社高速、東商化学、株式会社 pyro、仙台市、一般社団法人未来のテレビを考える会 など

成果と展望

スタジアム内での容器回収ステーション設置 → 回収 → ケミカルリサイクル → 再製品化 → スタジアムで再利用 → 地域と連携した循環型社会モデルの構築

